1
2017

社協シンボルマーク
（社の字を図案化したものです）

ぬくもり

第28号

発行／社会福祉法人　知内町社会福祉協議会

menu
□会長あいさつ
□平成28年度
共同募金運動
□寄付金のご紹介
□各地区防災組織＆
防災訓練
□おしまＨＯＴ（ほっと）
かないセンター
□地域いきいきサロン
□まちカフェ ころない
etc.

まちカフェ ころない

今年は酉年

「酉」という漢字は酒つぼを描いたもので、「酒」に関する字に使われてきました。収穫した作物から酒を抽出するという意味や、収穫できる状態であることから「実る」ということも表します。そのことから、果実が成熟した状態を表しているとされています。

また、「とり」は「とりこむ」と言われ、商売などでは縁起の良い干支です。さらに、酉の干支の特徴として、〝親切で世話好き〟とあります。十二支の守り本尊って知ってますか？酉年生まれの守り本尊は〝不動明王〟です。初詣は二〇一七年の干支「酉」にゆかりのあるお寺や神社に行くのも良いかもしれません。

新年のごあいさつ

社会福祉法人 知内町社会福祉協議会
会長 藤谷 利弘

新年あけましておめでとうございます。
ご家族おそろいで楽しいお正月をお迎えのこととお慶び申し上げます。
日頃より当社会福祉協議会に対しまして、町民みなさまの温かいご支援・ご協力を賜わり心から感謝とお礼を申し上げます。
さて、当社会福祉協議会では、人口減少や少子高齢化が進む中、誰もが住みなれた地域で共に支え合い、助け合って、安心して暮らし続けることをめざして第5期（平成二十八年～三十二年の五ケ年）の「地域福祉実践計画」を策定し、それに基づき各種施策に取り組んで参りました。
特に、昨年は北海道に多くの台風が上陸し甚大な被害が発生しました。近年は全国で災害が多発していることをふまえて、日常的な防災への取り組みを強化し地域の高齢者や障害者を災害から守るために自主的な防災活動を実施することを目的に各町内会の「自主防災組織」の設立を進めた結果、湯の里地区他九町内会で組織され、更には「はまなす町内会」が涌元町内会と合同で防災訓練等を実施しました。残る二町内会の設立に向けた支援と、全十三町内会の組織運営の支援を進めて参ります。
次に、現行の要支援者等については国から市町村に事業主体が移行となる、総合事業として多様なサービスを提供していく「新しい介護予防・日常生活支援総合事業」はいよいよ本年四月からスタートしますが、当社会福祉協議会としても安定した訪問介護事業所の運営を図るため、地域の実情にあったサービスを提供して参ります。
「地域いきいきサロン活動」については、昨年、涌元町内会・涌元谷地町内会でも実施し、十一の町内会で住民主体によるサロン活動を実施しておりますが、今後もスタッフや利用者に対する支援・協力体制を取って参ります。特に、昨年は高齢者等が気軽に立ち寄って、お茶や食事をすることが出来る居場所づくりのための、まちカフェ「コロナイ」を建物所有者のご理解と元町町内会や関係団体の協力で週二回、元町地区で常設開催していますが、今後も他の町内会での実施に向けた検討を進めて参ります。
最後に、昨年四月一日施行の社会福祉法等の一部改正では、社会福祉法人制度の見直しがあり、当社協の定款が全部改正となり本年は新評議員の選任等の作業が必要となることから、情報収集に努め適正な作業を進めて参ります。
おわりに、社会福祉協議会は、今後も地域福祉活動の推進役として、町民のみなさまに理解されることを目指し、役職員一丸となって努力してまいりますので、町民のみなさん、本年もこれまで同様、変わらぬご支援、ご協力を賜わりますようお願い申し上げまして新年のご挨拶といたします。

謹んで新年のお慶びを申し上げます

社会福祉法人
知内町社会福祉協議会

会長	藤谷 利弘	評議員	佐藤 書子	評議員	芦野 昭一
副会長	今田 恒夫	〃	佐藤 勇三	〃	伊藤 孝
〃	八木 年幸	〃	澤岡 孝彌	〃	上野 忠明
理事	一戸 峯子	〃	杉本 真弓	〃	加賀久美子
〃	遠藤 由	〃	手塚 春美	〃	金札 稔
〃	小向美千代	〃	仲上 絢子	〃	木村 和義
〃	佐藤 元	〃	西山大太郎	〃	工藤 寅雄
〃	小林 敬子	〃	橋本 政勝	〃	佐藤 暁樹
〃	田中 雄二	〃	本庄 勉		
〃	手塚 守	〃	前川 愛子	事務局長	大野 樹
監事	嶋内 純一	〃	松崎三喜彦	職員一同	（五十音順）
〃	橋本 富雄	〃	南 まり子		
		〃	村上キク子		
		〃	村上 壽		
		〃	村田 主税		
		〃	横山 一宏		
		〃	輪島 澄峯		

じぶんの町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金

ご協力ありがとうございました。

10月１日から全国一斉に行われた「赤い羽根共同募金運動」は、皆様のご理解とご協力により、70周年を迎え、たくさんの募金が寄せられました。誠にありがとうございました。

お寄せいただきました募金は、一旦、北海道共同募金会に送られ、平成29年度における当町の地域福祉事業や福祉団体などに約７割が役立てられ、残りの約３割は北海道内の広域的な課題を解決するほか、災害時の備えのために使われます。

募金総額　1,217,559 円

町内会各戸募金額

（単位：円）

町内会名	世帯数	募金額	町内会名	世帯数	募金額
中ノ川	72	59,500	涌元谷地	64	50,400
森越	113	92,500	はまなす	61	47,500
渡島知内	126	96,100	涌元	182	142,600
きらく	124	92,200	小谷石	56	60,000
重内	88	80,100	小計	1,304	1,084,824
湯ノ里	158	134,300	学校	3	21,729
上雷	30	29,100	企業・商店	29	88,500
元町	169	145,824	募金箱他	4	22,506
前浜	61	54,700	合計	1,340	1,217,559

（平成28年12月16日現在）

善意のご寄付ありがとうございました

・小松　述史　様（元　町）　亡母の香典の一部
・佐藤　鉄哉　様（元　町）　亡母の香典の一部
・知内中学校第８期生喜寿の祝いの会　様
福祉事業へ
・日影　　恒　様（元　町）　演芸会お花の一部
・湯ノ里地区中学生樽神輿　様　　ご祝儀の一部
・元町ジャガーズ　様　　御神輿の御花代一部
・知内民謡会　様　　民謡会チャリティー益金
・第７期知内中学校卒業生同期会一同　様
福祉事業へ
・松本サト子　様（湯の里）　亡夫の香典の一部
・辻田　正憲　様（重　内）　亡妻の香典の一部
・知内ねぶた囃子愛好会　様　　ご祝儀の一部
・高野　安吉　様（湯の里）　亡妻の香典の一部
・三浦　寿良　様（元　町）　亡母の香典の一部
・宮嶋　勝美　様（重　内）　亡母の香典の一部
・イエローハウスひまわり　様
フリーマーケット売上の一部
・匿　　名　様　　福祉事業へ
・森　　義則　様　　亡義母の香典の一部
・浅部　　正　様　　亡母の香典の一部

知内町社会福祉協議会への心温まるご寄付をいただきありがとうございました。

皆様からのご寄付は、知内町の地域福祉推進のために役立たせていただきます。

なお、ご寄付の掲載につきましては、同意いただいた方のみ掲載しています。

（平成28年８月23日～12月19日現在）

各地区防災組織＆防災訓練

近年、全国で災害が多発していることをふまえて、日常的な防災への取組を強化し地区の高齢者や障がい者を災害から守るため自主的な防災活動を実施することを目的として組織化に支援協力をしております。

主な活動は、防災訓練の実施、炊出し訓練の実施、要支援者名簿の整理、避難所・避難経路の確認等で、各地区の組織で防災訓練・炊き出し訓練は毎年行っています。

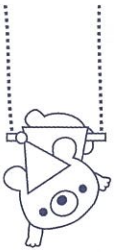
28年度は、「きらく地区」「重内地区」「前浜地区」で組織化され、現在13町内会のうち10の町内会で組織し残り３町内ですが、「はまなす町内会」は隣接している涌元町内会と合同で12月４日に訓練・炊出しを実施しました。

残る「森越町内会」「上雷町内会」でも29年の早い時期までに組織化する予定です。

社協としては、災害時の弱者となりうる高齢者や障がい者のために日頃から見守りも含めた支援をお願いするため町内会への立ち上げに対する支援協力をしていますが、組織の運営費や炊き出し訓練時の材料費等も助成しております。

前浜地区

重内地区



北海道社会福祉協議会・自立相談支援センターおしま
『おしまHOT（ほっと）かないセンター』

事業内容

渡島管内（松前町、福島町、知内町、木古内町、七飯町、鹿部町、森町、八雲町、長万部町）にお住いで、「働きたくても働けない」「住むところがない」「社会に出るのが不安」「家賃や光熱水費の支払いに困っている」などの、生活上（暮らしや仕事など）の悩みや経済的な困りごとや、今後の生活に不安を感じている方の相談をお受けします。ひとりで悩まず、お気軽に相談ください。

ご家族や地域の方からの相談も受け付けていますので、困っている方やご心配の方がいたら、お知らせください。

支援内容

◇自立相談支援事業◇

生活上の悩みや経済的な困りごと、生活への不安を抱えている方の相談を支援員が受けて、問題点を整理しながらどのような支援が必要かをあなたと一緒に考え、具体的な支援プランを作成し、寄り添いながら自立に向けた支援をおこないます。

◇住宅確保給付金の相談・受付◇

離職などにより住居を失った方、または失うおそれがある方に、住居を整えた上で就労に向けた活動ができるよう、一定期間、定められた金額以内で家賃相当額を支給する住宅確保給付金の相談・受付を行います。

◇就労体験事業◇

実習等の形態による軽易な作業等の就労体験を行い、一般就労に向けた支援をおこないます。

相談方法

函館市にある『おしまＨＯＴ（ほっと）かないセンター』に、お電話や来所、ＦＡＸやメールなどでご相談ください。訪問相談も致しますので、お気軽にご連絡ください。

また、知内町社会福祉協議会でも相談をお受けします。

相談窓口・問い合せ先

北海道社会福祉協議会・自立相談支援センターおしま
『おしまHOT（ほっと）かないセンター』

〒041－8558　函館市美原4丁目6-16　渡島合同庁舎2階
電　話：0138－47－3013　　ＦＡＸ：0138－34－6966
メール：hot-oshima@dosyakyo.or.jp
相談受付：午前９時～午後５時（土･日･祝日･年末年始を除く）

センターイメージキャラクター
『ほっとちゃん』

おしまHOT（ほっと）かないセンターは

あなたのことを…**HOT（ほっと）かない**
　そうして、わたしのことを…**HOT（ほっと）かないで**
そんな、あなたのための
　HOT（ほっと）できる場
　HOT（暖かい・ぬくもりのある）できる関わり
を目指したセンターです。

地域いきいきサロンの開催

一人暮らしや閉じこもりがちな高齢者等の生きがいや地域のつながりを大切にするため、いきいきサロンスタッフが中心となり、各町内会館等に集まり開催しています。また、平成28年度は「わくもと（涌元地区）」と「やまくり（涌元谷地地区）」が初のいきいきサロン開催となりました。現在は11地区で各地域にあった内容で保健師による血圧測定や健康講話・体操、他にはレクリエーションやカラオケ、おいしい昼食を食べたりとさまざまです。対象者は各地区により異なりますので、参加希望の方は各地区の「いきいきサロンスタッフ」又は社協へご連絡ください。

（血圧測定）

（健康体操）

（昼　　食）

（開催地区：中ノ川・森越・渡島知内・重内・湯ノ里・元町・前浜・はまなす・涌元谷地・涌元・小谷石）

まちカフェ　ころない

当社会福祉協議会では、地域の孤立予防や見守り・支え合い活動の場として元町地区に「まちカフェころない」を28年８月から試験的に開設し、11月１日から本格オープンしました。

カフェは、当社協の故能代久司元会長の自宅をご遺族のご厚意により無償で貸与されたもので、木造平屋建て（約140㎡）と庭園（約200㎡）があります。

開放は、毎週火曜日と金曜日の午前中で運営に当たっては元町町内会役員、元町老人クラブ役員、「いきいきサロンころない」のスタッフの皆さんの協力を頂き実施しております。利用者は当初５～７名でしたが12月には毎回15名ほどが集まりお茶会や手芸、カラオケ等で交流を深めております。１月～２月は雪のため休館していますが、３月から再オープンする予定です。

また、カフェには、町民からカラオケ機器、食器、将棋などの備品の寄贈も相次ぎ地域の住民同士の支え合いの場として認知されております。

カフェは、趣味やサークル活動にも開放していますので、利用希望者は町社協に申し込みして下さい。（電話５―4071）

印刷／㈱島本印刷 ☎(01392)5-2101

社協だより「ぬくもり」　平成29年１月号　発行／社会福祉法人 知内町社会福祉協議会
〒049-1103 上磯郡知内町字重内21－１　知内町民センター内
TEL (01392) 5－4071　FAX (01392) 5－7441